

商工観光部

令和2年度重点目標

- 1 新型コロナウイルス感染症に関する中小企業者支援
- 2 地方創生に向けた地域産業の活性化と先端技術の導入促進
- 3 地域雇用情勢に応じた施策の展開と就労支援
- 4 上田の卓越性を生かした企業誘致・留置の推進と創業支援
- 5 「観光地・上田」の魅力発信と誘客促進
- 6 中心市街地の活性化と稼げるまちづくりの推進

令和2年度 重点目標管理シート

重点目標	新型コロナウイルス感染症に関する中小企業者支援		部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略	施策体系①地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・米中貿易摩擦及び新型コロナウイルス感染症に伴う中小企業者の資金繰り、雇用確保などが懸念され、ハローワーク及び商工会議所など関係機関と連携しながら状況を把握し、必要な支援策を講じていく必要があります。 ・低迷する地域経済の難局を乗り越えるためには、地元企業が抱える課題解決に向け、国の緊急経済対策に連動した中小企業者支援により、保証協会、金融機関との連携による迅速な融資等の資金繰り支援、雇用情勢の把握、労働環境の整備が必要であります。 ・国の各種補助金を活用した設備投資や販路開拓の促進を図るとともに、終息後の回復期に向けて、商工団体や観光団体などと連携した消費喚起や観光誘客活動を行うことで、人の流れを確保しながら地域経済を支えていく必要もあります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス等の影響などによる売上や受注の減少に伴う資金繰りの悪化に対して関係機関と連携し、中小企業の資金繰り支援である制度融資について、企業ニーズや経済情勢を踏まえた上で弾力的に運用することで、中小企業のセーフティネットを充実します。また、生産性向上、販路開拓などの国補助金の申請支援などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。 ・地域経済や雇用に関する関係機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを推進することで伴走型の商工業支援を図ります。 ・終息後の回復期に向けて、市内3商工団体や観光協会・旅館組合などと連携して取り組むことで、事業者の消費需要を喚起するとともに、誘客促進に向けた観光プロモーション活動を進めます。 					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	<ul style="list-style-type: none"> ○国の緊急経済対策に連動した中小企業者支援 (1) 保証協会・金融機関と連携した資金繰り支援 (2) ハローワークと連携した雇用支援と労働環境の整備 (3) 国等助成制度を活用した設備投資・販路開拓支援 (4) 商工団体・観光団体と連携した消費需要喚起・観光誘客 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 融資実行:随時、経営相談窓口設置:随時 (2) 雇用情勢の把握、各種施策の検討・実施:随時 (3) 各種補助金申請支援:随時 (4) 収束後の消費喚起・観光需要回復に向けたプロモーション等の実施:随時 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 融資実行件数:614件（市制度:539件、県制度:75件）、相談窓口:随時 (2) 雇用調整助成金の申請支援65件、学生生活・就職支援事業の創設、オンライン就活フェアの企画・実施 (3) 長野県 飲食・サービス業等支援補助金の申請支援 6件 (4) ○以下4事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済を活用した消費喚起事業（参加店舗 884件、地域内消費額 約9億円） ・市内テイクアウト等実施店ポータルサイト事業（参加店舗数 157件） ・市内小売・製造業販売支援ポータルサイト事業（参加店舗 45件） ・信州上田観光協会との連携によるSNSを活用した誘客宣伝事業（デジタルスタンプラリー: 8/8～11/3） ○その他中小企業者等の事業継続支援 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊事業者向け支援金支給事業（164件） ・市内旅行需要喚起事業（実施時期検討中） ・旅行者支援事業（11件） ・旅館・ホテル業事業者に係る温泉使用料支援事業（45件） ・市内観光協会・旅館組合等支援事業（6件） 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 融資実行件数:684件（市制度:574件、県制度:110件、セーフティネット認定1,639件）相談窓口:随時 (2) ○雇用調整助成金の申請支援 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者への相談支援:37件 ・申請支援事業補助金:175件 ・ホームページ動画配信:視聴数2,650回 ○新卒学生への就職支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学生生活就職支援事業:408人 ・オンライン就活フェア:21人（参加企業数 第1期:27社、第2期:30社） (3) 長野県 飲食・サービス業等支援補助金の申請支援 6件 持続化補助金1件 (4) ○消費需要喚起事業 <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済を活用した消費喚起事業（参加店舗 1,200件、地域内消費額 約28.7億円） ・市内テイクアウト等実施店ポータルサイト事業【もっテイク上田】（参加店舗数 160件） ・市内小売・製造業販売支援ポータルサイト事業【買ってミール上田】（参加店舗 46件） ・信州上田観光協会との連携によるSNSを活用した誘客宣伝事業（デジタルスタンプラリー: 8/8～11/3） ○観光関連事業者の事業継続支援 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊事業者向け支援金支給事業（173件） ・市内旅行需要喚起事業（利用人数1,250人） ・旅行者支援事業（11件） ・旅館・ホテル業事業者に係る温泉使用料支援事業（45件） ・市内観光協会・旅館組合等支援事業（6件） 	
事項記	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

令和2年度 重点目標管理シート

重点目標	地方創生に向けた地域産業の活性化と先端技術の導入促進		部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系①地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	・経済、雇用を牽引する基幹産業である製造業の技術力の集積とARECを拠点とする産学官連携の取組みが特徴であり強みでもあります。このためARECを中核とする各種産業支援機関との連携により、次世代に向けた工業活性化の取組みを進め、しごとづくり及び雇用の確保を図ることが必要となります。また、経済のグローバル化に伴い、大手メーカーの海外現地生産化等が進んでいる中、下請け企業は生き残りをかけ、販路拡大や研究開発型企業へと展開を図る必要があるため、幅広く、かつ、きめ細かな企業支援が求められています。地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組（地域未来投資）が活発になることで、地域経済における稼ぐ力の好循環の実現が期待されています。					
目的・効果	・広域連携による他市町村の多種多様な企業間の連携を推進し、地域経済の足腰を強くするとともに、既存産業の維持確保のみならず、次世代へとつながる新たな産業創出の支援、並びに雇用の創出を図ります。 ・販路開拓や農商工連携による6次産業化などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。 ・地域経済や雇用に関する関連機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを推進することで伴走型の商工業支援を図ります。 ・地域経済牽引事業計画に基づく設備投資や生産性向上特別措置法の導入促進基本計画に基づく設備投資による固定資産税減免などの優遇制度や国の研究開発補助金などの活用促進を図ります。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○東信州広域連携による次世代産業創出支援 (1)次世代ビジネスモデルの推進 (2)次世代人材の確保・育成	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1)開発プロジェクト立ち上げ:1分野、企業マッチング:4回 技術講演会等:10回、コーディネーター合同会議:3回 (2)企業の人材確保（高校生・大学生と企業情報交換会等）:6回 企業の人材育成（品質管理・法務対策等スキル向上セミナー等）:20回	(1)開発プロジェクト立ち上げ:2分野、企業マッチング:5回、技術講演会等:7回、コーディネーター合同会議:3回 (2)企業の人材確保:2回（外国人材採用力強化セミナー、#地元高校生の1000人オンライン企業博） 企業の人材育成:6回（生産性向上訓練:4回、企業法務対策セミナー:2回）	(1)開発プロジェクト立ち上げ:2分野、企業マッチング:6回、技術講演会等:11回、コーディネーター合同会議:6回 (2)企業の人材確保:6回 （外国人材採用力強化セミナー、高度女性人材採用・活用セミナー、女性のためのオンラインジョブフェスタ、地元高校生のオンライン企業博、企業の採用担当者と大学の就職担当者との情報交換会2回） 企業の人材育成:14回 （生産性向上訓練:8回、企業法務対策セミナー:2回、ビジネス英語講座:4回）	
②	○AI・IoT等を活用した産業振興 (1)製造現場等へのIoT導入支援（新規） (2)上田市技術研修センターを活用したIT技術者育成 (3)政策研究センターと連携した先端技術（R-加5G等）活用に向けた調査研究	(1)7月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)セミナー開催:3回、補助金創設、研究会:6回 (2)対象者15人、セミナー開催:10回 (3)随時	(1)セミナー開催:1回、補助金採択件数:0件、研究会:1回 (2)新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 (3)上田市キャッシュレス推進協議会の設立	(1)セミナー開催:2回、補助金採択件数:1件、研究会:4回 (2)新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 (3)路線バスキャッシュレス決済システムの試験運用開始	
③	○意欲ある中小企業のきめ細やかな経営支援 (1)中小企業・小規模企業振興条例に基づく商工業振興プランの見直し (2)商工団体・産業支援機関等と連携した販路開拓、展示会出展支援 (3)商工団体との連携及び民間活力を導入した事業承継・M&Aの推進（新規）	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)検討委員会開催:3回 (2)展示会共同出展:製造業5回、非製造業2回、企業マッチング:130回、補助金支援件数:35件 (3)支援体制の構築・セミナー開催:5回、専門家派遣:3社10回	(1)新型コロナウイルス感染症の影響により未実施 (2)展示会共同出展:非製造業0回（スーパーマーケットトレードショー2月予定） 販路拡大補助金:交付決定5件 (3)トランビ、上田市、3商工団体で連携協定を締結（6月） セミナー等は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施	(1)検討委員会開催:3回 改訂プラン作成 (2)展示会共同出展:2回 企業マッチング:129回、販路拡大補助金:12件 (3)支援体制の構築・セミナーは新型コロナウイルス感染症の影響により未実施、専門家派遣:3社10回	
④	○信州上田ブランドのブランディング促進 (1)魅力ある新製品開発、体験型コト消費等新サービス開発、農商工連携等支援 (2)上田ブランドプロモーションの展開 (3)市内温泉街の新規出店等魅力創出支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)補助金支援件数:5件、2件（体験型・新規） (2)マーケティングの実施、銀座NAGANO、東日本連携センター等の活用:随時 (3)補助金支援件数:2件	(1)補助金支援件数:4件（うち体験型1件） (2)新型コロナウイルス感染症の影響により未実施 (3)補助金支援件数:1件	(1)補助金支援件数:8件（うち体験型3件） (2)マーケティングの実施、銀座NAGANOと調整済1件 (3)補助金支援件数:1件	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
⑤	○関係機関との連携等による実態把握及び支援 (1) 商工会議所・金融機関との連携による企業の生産性及び経営力向上支援 (2) 経営支援や雇用支援に係る関係機関との連携 (3) 経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握 (4) 買い物弱者実態調査及び分析、検証及び民間事業者への情報提供	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) キャラバン隊による企業訪問：随時 (2) 国・県・中小企業振興センター等との連携：随時 (3) 経営実態調査：年2回、企業訪問：300件 (4) 随時	(1) 10件 (2) 随時 (3) 経営実態調査実施（8月） (4) デリシア川西店、イトーヨーカドー上田店による、移動スーパー「とくし丸」導入（9月）	(1) 10件 (2) 随時 (3) 経営実態調査実施 4月・8月・12月 企業訪問352件 (4) デリシア川西店、イトーヨーカドー上田店による 移動スーパー「とくし丸」導入（9月）
⑥	○地域未来投資法等を活用した企業の設備投資支援 (1) 先端設備導入計画策定、地域未来牽引事業計画策定支援 (2) 工場等用地取得事業・工場等設置に対する支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 先端設備導入計画策定支援件数、地域未来牽引事業計画策定支援件数：30件 (2) 工場等用地取得・工場等設置に対する支援件数：5件	(1) 先端設備導入計画策定支援（認定事業者 29件）、 地域未来牽引事業計画策定支援（1件） (2) 工場等設置に対する支援（補助金交付 2件）	(1) 先端設備導入計画策定支援（認定事業者 64件） 地域未来牽引事業計画策定支援（4件） (2) 工場等設置に対する支援（補助金交付 5件）
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和2年度 重点目標管理シート

重点目標	地域雇用情勢に応じた施策の展開と就労支援		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと雇用創出		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系 ② 人材育成・雇用マッチングの拡充		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・堅調であった地域の雇用情勢だが、米中貿易摩擦及び新型コロナウイルス感染症の影響が懸念され、ハローワークや商工会議所など関係機関と連携しながら状況を分析し、必要な支援策を講じていく必要がある。一方、業種によっては人材不足に苦慮している事業所も多く、特に学卒者等の若者、高度専門人材の地域企業への就労支援施策が引き続き必要である。 ・人口及び労働力人口減少対策（地方創生）が喫緊の課題である中、UIJターンによる移住就職促進、自立を目指す若者、女性や就職氷河期世代など潜在的な労働力の掘り起こしを行い、地域企業の担い手を確保していく必要がある。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市版ハローワーク（就労サポートセンター）における労働・就職相談や求職者支援、関係機関と連携した雇用情勢の分析を通じて、雇用の維持・安定につなげます。 ・民間事業者と連携した「UIJターンと地域若者等定住就職支援事業」の実施により、首都圏等の移住希望者に対する就職支援を通じて、移住を検討しやすい環境を整えるとともに、地域若者等を安定した正規雇用結びつけ、市内定住を促します。 ・上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒者に対する合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供するとともに、SNSを活用し地域企業の情報を届け、一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。 					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	<ul style="list-style-type: none"> ○就労サポートセンター（上田市版ハローワーク）事業の推進 (1) 関係機関と連携した就職・労働相談及び無料職業紹介の実施 (2) 地域雇用に係る情報収集・提供 (3) 求職者・勤労者のスキルアップと企業の人材育成等支援 (4) 若年無業者及び就職氷河期世代の自立・就労支援 (5) 外国人就労に係る各種支援策の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各種相談、無料職業紹介:200件 (2) 事業所訪問:400件 (3) 再就職支援セミナー実施（パソコンサミナー24回、仕事の探し方講座12回、定年退職前後の手続きセミナー5回） (4) 若者サポートステーション・シナノ（待学園）と連携した自立支援：就職等:25人 (5) AREC及び庁内関係課との連携による各種支援策の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各種相談 153件（就職決定者数：4件） (2) 事業所訪問：実施見合わせ (3) 再就職支援セミナー実施（パソコンサミナー8回、仕事の探し方講座5回、定年退職前後の手続きセミナー2回） (4) カンパリング事業と保護者向け相談会を業務委託 (5) 「外国人求職者向け日本語セミナー」開催：5回（人権男女共生課・AMUと連携） 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各種相談：270件（就職決定者数：6件） (2) 事業所訪問件数：262件（コロナ対応として見合わせた期間あり） (3) 再就職支援セミナー実施：3種類34回 (4) 事業実施による就職等17人 (5) 「外国人求職者向け日本語セミナー」開催：5回（人権男女共生課・AMUと連携） 	
②	<ul style="list-style-type: none"> ○UIJターン就職の促進 (1) 移住交流推進課・民間人材派遣会社との連携による就職支援 (2) UIJターン就業・創業移住支援事業による移住・地域企業への就職促進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 相談者数:120人 UIJターン希望者の地域企業への就職:20人 (2) 地域企業への就職:10人 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルスの影響により事業中止 (2) 移住支援金を活用した地域企業就職：1人 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルスの影響により未実施 (2) 移住支援金を活用した地域企業就職：1人 	
③	<ul style="list-style-type: none"> ○若年者の地元就職促進 (1) 学生等地域企業就職促進奨学金支援事業の普及 (2) 民間人材派遣会社との連携によるOFF-JT・OJT研修実施 (3) 上田職業安定協会等と連携した学生と企業とのマッチングの強化 (4) 職業高校、県工科短期大学校と連携した地元就職促進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 9月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 支援事業導入：5社、対象者10人 (2) 地域企業への就職:20人 (3) 就活フェア等開催:4回、就職支援セミナー開催:15回、インターンシップ受入:300人、高校生事業所見学会:300人、ジョブ・トレイン大学開催:4回、地域企業見学会等開催、インターンシップ受入促進 (4) 地元職業高校と地域企業との連携事業：3回 県工科短期大学校との連携事業構築 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 支援事業導入：0社 (2) 前期受講生：8人 (3) 新型コロナウイルスに対応した新たな形態のイベントにより実施 ・合同就職面接会開催：1回 ・オンライン就活イベントの企画 ・パッケージ型インターンシップの受入：3人 (4) 県工科短期大学校主催セミナーへの協力 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 支援事業導入：0社 ※新たな助成制度を構築 (2) 受講生：前期8人、後期8人（内15人が正規雇用） (3) 新型コロナウイルスに対応した新たな形態のイベントにより実施 ・就活フェア等開催：3回 ・オンライン就活フェアの企画・実施 ・パッケージ型インターンシップの受入：3人 (4) 県工科短期大学校主催セミナーへの協力 	
④	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育による人材育成 (1) 産学官連携によるキャリア教育推進委員会の開催 (2) 産業界と連携した、郷学郷就につながる人づくり（小学生対象） (3) 産業界と連携した、郷学郷就につながる人づくり（中学生対象） 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 6月～3月 (2) 6月～3月 (3) 6月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 委員会の設置、会議開催：2回 (2) 夏休み親子見学会:5日間 ものづくり教室開催:2回以上 「ジョブキッズしんしゅう」事業参画 (3) 職場体験学習受入れ企業の拡充、社会人講師による校内出前授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 庁内協議準備 (2) 新型コロナウイルスの影響により未実施 ・「ジョブキッズしんしゅう」事業：オンライン開催 ・小学生向け地域企業の紹介サイト構築検討 (3) 新型コロナウイルスの影響により未実施 ・「放課後四中アカデミー」事業立ち上げ協力 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会と協議実施：2回 (2) 新型コロナウイルスの影響により未実施 ・「ジョブキッズしんしゅう」事業:オンライン開催 ・小学生向け地域企業の紹介サイト構築 (3) 新型コロナウイルスの影響により未実施 ・「四中アカデミー」実施：15回 ・社会人による出前授業：1回 	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・ハローワークや商工会議所などの関係機関との連携、事業所訪問を通じて、各種施策を企画・展開し、地域雇用の維持・安定を図る。 ・地域及び県内外の高等教育機関と連携し地域企業に関する情報や就職に係る情報が、着実に学生に届くよう様々な手法を用いて発信する。また、民間人材派遣会社や地域若者サポートステーションと連携し、伴走型の就労支援を展開していく。 			<ul style="list-style-type: none"> ○取組による効果・残された課題 ・雇用の維持と安定につながる、雇用調整助成金の申請を促進するため、「雇用調整助成金申請支援事業補助金」や市就労サポートセンターにおける個別支援、ホームページの動画配信など積極的に取り組んできた。 ・コロナ禍における労働者や失業者に対する施策は、継続して実行する必要がある。 		

令和2年度 重点目標管理シート

重点目標	上田の卓越性を生かす企業誘致・留置の推進及び創業支援			部局名	商工観光部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 起業・創業支援と中小企業の経営力強化			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系③若者等の多様な働き方の支援 ⑤多様な産業の集積促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生を推進する上では、しごとを作り・雇用機会の拡大を図る施策を推進していくが重要となります。 ・そのためには、民間活力を高め、若者など起業しやすい環境を整えることや、地域特性を活かした様々な産業が集積し成長する必要があります。 ・地域労働力の担い手として女性の社会進出も喫緊の課題であります。 ・インターネット社会において、働き方の多様化に対応するため、今後はワーケーションやテレワークについての可能性を研究する必要があります。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援や首都圏等からの創業者の誘致を行い、市内企業と創業者とのコミュニティ形成による異業種交流を推進し、新たな商品・産業の創出を目指します。 ・女性のための創業スクールや創業後のフォローアップ等を行い、事業の立ち上げの支援を行います。 ・工場誘致など雇用の創出や税収増による市内経済の活性化のみならず、市内製造業の高度化に寄与する研究機関や本社機能などの誘致を推進することで、市内企業活動の活性化を図ります。 						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○創業プラットフォームを中心とした創業支援の充実 (1) 商工会議所・ARECとの連携による伴走型創業支援 (2) 創業期・創業展開期における支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 創業プラットフォームでの相談件数:300件 (2) 家賃、改修費、クラウドファンディング活用支援件数:10件	(1) 相談件数 148件（うち女性 26件） (2) 家賃支援（6件）、改修費支援（2件）、クラウドファンディング活用支援（0件）	(1) 相談件数 314件（うち女性 39件） (2) 家賃支援（6件）、改修費支援（3件）、クラウドファンディング活用支援（1件）		
②	○企業誘致・留置の推進 (1) 第二期箱置工業団地造成の推進 (2) インターチェンジ周辺の用地活用検討 (3) 宅地建物取引業協会と連携した工場用地等の情報提供	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 令和3年度末 (2) 随時 (3) 市内企業訪問:150社	(1) 工事の進捗管理及び購入申し出企業との協議を実施 (2) 地域未来投資促進法の活用を検討 (3) 宅建協会と連携して工場用地の問合せに対応（12件）	(1) 工事の進捗管理及び購入申し出企業との協議を実施 (2) 地域未来投資促進法、指定市町村の活用を検討 (3) 宅建協会と連携して工場用地の問合せに対応（15件）		
③	○起業家、サテライトオフィス等の誘致 (1) サテライトオフィス等の誘致 (2) ワーケーション施設の促進と起業家誘致	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 補助金支援件数:5件 (2) 補助金支援件数:1件	(1) 別所温泉地区での検討（1件）、鹿教湯温泉地区での検討（1件） (2) 別所温泉地区での検討（1件）	(1) 別所温泉地区（1件）、鹿教湯温泉地区（1件）で検討している企業の相談を実施 対象要件を拡充する要綱改正を実施 (2) 別所温泉地区での検討（1件）		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

令和2年度 重点目標管理シート

重点目標	「観光地・上田」の魅力発信と誘客促進		部局名	商工観光部	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興		まち・ひと・しごと創生 総合戦略における位置付け	【戦略】3 訪れたい・住みたいうた戦略 【施策体系】①地域資源を生かした知名度アップと交流促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (イ)多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (ウ) 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年東日本台風、記録的な暖冬による雪不足、新型コロナウイルス感染症の拡大と長引く観光需要の低迷は、市内観光産業に大きな影響を及ぼしている。 当市における外国人宿泊者数は年々増加傾向にあるが、長野市・松本市・軽井沢町などインバウンド先進地には多くの外国人観光客が訪れていることから、市内への取り込みに向けた対策強化の必要がある。 観光を推進する牽引役である「一般社団法人 信州上田観光協会」における事業推進が重要となっている。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の終息を見極めつつ、官民連携により積極的な観光プロモーションに取り組み、市内観光需要の早期回復につなげる。 2021年の東京オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、当市の魅力発信に取り組むとともに、関係自治体や民間団体とも連携したインバウンド施策の展開により外国人観光客の誘客促進を図る。 行政と民間の役割を明確化する中で、官民連携で「稼げる観光地づくり」を推進する。 					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○観光資源の活用推進 (1) マリコワイナリーを活用したツーリズムの推進	(1) 4～3月	(1) ・観光ルート構築 ・PRパンフレット制作：1種類	(1) ①（一社）信州上田観光協会と連携し、旅タクシー事業を活用した観光ルートを構築 ②PRパンフレット制作：1種類（4,000部）	(1) ①（一社）信州上田観光協会と連携し、旅タクシー事業を活用した観光ルートを構築（4～3月利用件数 32件） ②PRパンフレット制作：1種類（4,000部）	
	(2) 官民連携による誘客イベントの開催	(2) 4～3月	(2) 誘客イベント開催：5回	(2) 上田エル・ブルーライトアップの実施（8/7～8/30） ※その他のイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	(2) 上田エル・ブルーライトアップの実施（8/7～8/30） 令和元年東日本台風災害復興花火（11/3） 上田氷灯ろう夢まつりの実施（2/7～2/11） ※その他のイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	
	(3) 観光施設のあり方検討	(3) 4～3月	(3) 庁内関係課会議開催：3回	(3) 上田城跡南駐車場の取り扱いについての庁内関係課会議開催：1回実施（9/4）	(3) 上田城跡南駐車場の取り扱いについての庁内関係課会議開催：3回実施（9/4・12/15・3/29）	
②	○広域連携事業の推進 (1) 東日本連携を活用した誘客促進	(1) 4～3月	(1) 誘客イベント開催：2回	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	
	(2) トライアングル連携（長野市、松本市、上田市）による誘客促進	(2) 4～3月	(2) ・上田松本直行バス利用者：3,000人 ・ウルトラリエーリング*検討会議：3回	(2) ①上田松本直行バス利用者数：978人（9月末） ②ウルトラリエーリング*検討会議：後期実施予定	(2) ①上田松本直行バス利用者数：2,118人（3月末） ②ウルトラリエーリング*検討会議：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により次年度へ延期	
	(3) 真田街道推進機構他関係自治体及び各種団体と連携した誘客促進	(3) 4～3月	(3) 誘客イベント開催：3回	(3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	(3) お城EXP02020（パシコ横浜）に出展（12/19～12/20）	
③	○インバウンドの促進 (1) しなの鉄道沿線自治体及び各観光協会と連携した海外誘客の促進	(1) 4～3月	(1) 外国人向けしなの鉄道フリーチケット「Banzai Pass」販売促進：1,000件	(1) 外国人向けしなの鉄道フリーチケット「Banzai Pass」販売促進：329件（8月末）	(1) 外国人向けしなの鉄道フリーチケット「Banzai Pass」販売促進：1,228件（3月末）	
	(2) （一社）信州上田観光協会と連携したインバウンド施策の検討	(2) 4～3月	(2) 検討会議開催：4回	(2) 検討会議開催：3回実施（4/14・7/27・9/8）	(2) 検討会議開催：4回実施（4/14・7/27・9/8・1/25）	
	(3) おもてなしの態勢整備	(3) 4～3月	(3) 多言語パンフレット制作：2種類	(3) 多言語パンフレット制作：後期に制作予定	(3) 多言語パンフレット（英語・中国語）制作：2種類 飲食店メニューの多言語化：40軒	
④	○「稼げる観光地づくり」の推進 (1) 地域おこし企業人の活用	(1) 4～3月	(1) ・観光資源の掘り起こしに向けたブランディング支援：2件 ・ワーケーション促進：1件 ・誘客イベント開催：2回	(1) ①日本遺産を活用した地域ブランド創出支援（観光庁：「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業応募 9/18採択） ②ワーケーション施設を全国に展開する民間事業者市内温泉地空き物件紹介及び活用協議 ③新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	(1) ①・日本遺産を活用した地域ブランド創出支援（観光庁：「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業応募 9/18採択） ・日本遺産上田市リジナルロゴマーク制作支援 ②ワーケーション施設を全国に展開する民間事業者市内温泉地空き物件紹介及び活用協議 ③新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	
	(2) （一社）信州上田観光協会と連携した観光消費額の増加に向けた取り組み	(2) 4～3月	(2) 着地型（体験型）旅行商品開発検討会議：3回	(2) 日本遺産を活用した着地型旅行商品開発（一社）信州上田観光協会・千曲市との検討会議：1回実施（7/28）	(2) 日本遺産を活用した着地型旅行商品開発（一社）信州上田観光協会・千曲市との検討会議：4回実施（7/28・10/26・11/11・1/12）	
	(3) 観光マスタープラン策定準備	(3) 4～3月	(3) 庁内検討会議：3回	(3) 庁内検討会議：1・2・3月開催予定	(3) 庁内検討会議：3回実施（1/13・1/29・3/29）	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

令和2年度 重点目標管理シート

重点目標	中心市街地の活性化と稼げるまちづくりの推進		部局名	商工観光部	優先順位	6位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 3 訪れたい・住みたいいうえだ戦略 施策体系 ①地域資源を生かした知名度アップと交流促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市中心市街地活性化基本計画（2期計画）は国の認定を受け、本計画に基づき取組を進めてきたところであり、本年度に計画期間が終了することから、今後の方針を定めていく必要があります。本計画の数値目標の一つとして、空き店舗数の減少を掲げており、地方創設推進交付金を活用した新たな空き店舗対策として、平成30年度から取組を進めているまちなか創業空き店舗活用事業を着実に実施し目標達成を目指す。 ・商店街の高齢化及び空き店舗数の減少が堅調になっておりま、経営者の稼げる経営環境を支援する必要があります。 ・コロナウィルス感染症の影響などで、上田市中心商店街への来客が減少していることから、商工団体などと連携し、終息後の回復に向けて、賑わい創出につながる取組を進めていく必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化基本計画を検証することにより、これまでの取組の効果と課題を把握し、中長期的なまちづくりに向け新たな施策を検討します。また、まちなか創業空き店舗活用事業の実施により、空き店舗数の減少を図るとともに、まちなかにおいて開業できる人材を育て創業を促すとともに、商店街全体の活性化と稼げるまちづくりを推進します。 ・事業承継M&A並びに新規創業者のチャレンジ支援により、中心市街地の活性化を図ります。 					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	<ul style="list-style-type: none"> ○第二期中心市街地活性化基本計画後の方針検討 (1) 第二期基本計画検証及び独自計画素案策定 (2) 庁内関係部局や会議所・商店街意見交換等による方針検討 (3) 居住人口、歩行者通行量、空き店舗数の継続的把握 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4～3月 (2) 4～3月 (3) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 中心市街地活性化協議会等の開催：随時 (2) 庁内・商工団体情報交換会の開催：随時 (3) 随時 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第二期基本計画検証・公表（9月） (2) コロナウィルス感染症の影響により未実施 (3) 随時 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第二期基本計画検証 (2) 上田市商工業振興プラン改訂検討委員会の中で、意見交換 (3) 随時、歩行者通行量2回実施 	
②	<ul style="list-style-type: none"> ○まちなか創業空き店舗活用事業を推進 (1) チャレンジショップの運営 (2) 空き店舗見学会、まちなか創業セミナー、家賃補助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4～3月 (2) 4～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ショップの営業、新規出店者の募集：随時 (2) 見学会：1回以上、セミナー開催：4回 	<ul style="list-style-type: none"> (1) マンション建設実施により6月末日をもってチャレンジショップ運営終了 (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により実施方法を変更。 空き店舗見学会：UCVを活用し店舗情報を発信 その他相談に応じ個々に対応 創業セミナー：通信講座を実施。18名受講中 家賃補助：R2.3末日までの開業者に実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) マンション建設実施により6月末日をもってチャレンジショップ運営終了 (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により実施方法を変更 空き店舗見学会：UCVを活用し店舗情報を発信 その他相談に応じ個々に対応 創業セミナー：通信講座を実施（18名受講） 家賃補助：R2.3末日までの開業者に実施 	
③	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街等と連携したまちなか交流事業の促進 (1) 真田十勇士ガーデンプレイスでの商店街イベント等開催支援 (2) 池波正太郎真田太平記館の魅力発信、企画展・文学散歩等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4～3月 (2) 4～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 随時 (2) 企画展：4回、文学散歩：2回、SNS情報発信：随時 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止 (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、企画展：3回 文学散歩：1回に変更 春の企画展 3/28～6/21 入館者数 772人 夏の企画展 7/18～10/4 入館者数 2,425人 ツイッターによる情報発信を随時実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) GOTO商店街開催イベントを支援したものの、直前に新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により下記のとおり変更して実施、 ・企画展：3回 春の企画展 3/28～6/21 入館者数 772人 夏の企画展 7/18～10/4 入館者数 2,425人 秋の企画展 10/24～2/28 入館者数 3,171人 ・文学散歩：1回 10/30 参加者数 15人 ・特別講座（サロントーク）を感染対策として3密を避けるため勤労者福祉センターで開催 11/13 参加者数 12人 ・ツイッターによる情報発信及び上田市に関する事項の情報拡散を随時行った。 	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		